

国際知的財産活用フォーラム2014

知的財産を活かしてグローバルに展開する中小企業の成長戦略

中小企業知的財産戦略啓発活動の あゆみと今後

2014.1.27

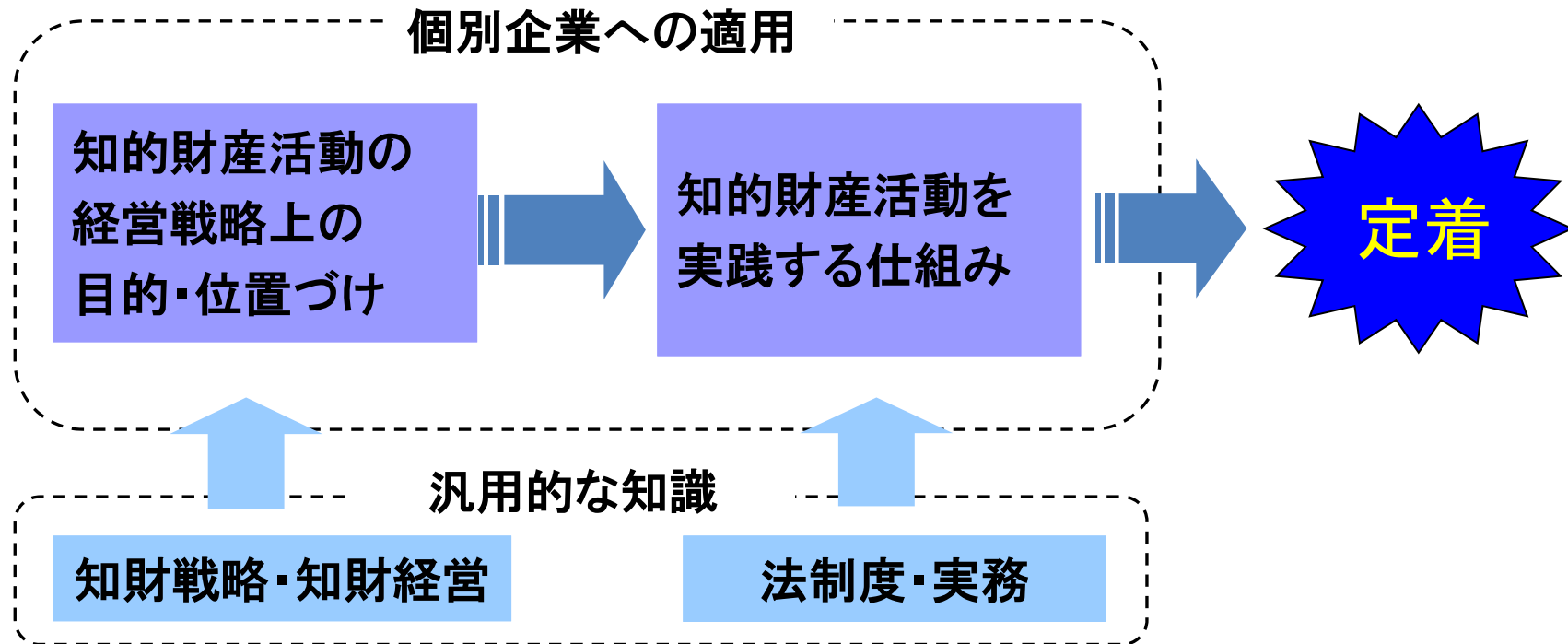
弁護士 鮫島正洋

samejima@uslf.jp

中小企業向けの知財戦略啓発事業のあゆみ

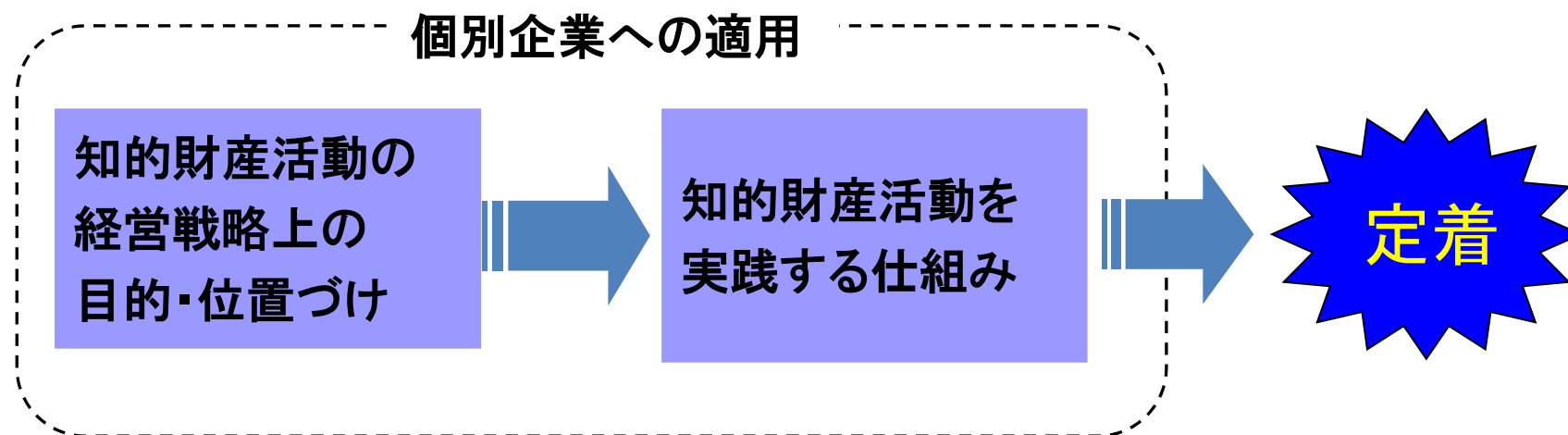
- 我が国の産業構造における中小企業の位置づけ
- 2004年：地域中小企業知的財産戦略啓発事業発足（特許庁）
 - 8年間にわたり、全国の中小企業経営者とのネットワーク・理論の研究を行う。
- 知的財産経営定着モデルの提唱

知財経営定着モデル



特許庁の地域中小企業知財経営基盤定着支援事業(平成21年度)で表された知的財産経営定着モデルの考え方

知財活動は経営戦略を実現するために行うべき



(事業課題)

- ① エンジニアのモチベーションアップ
- ② 自社技術力のPR

- ① 自社にとっては当たり前ノウハウの特許化することによって、技術が最先端を走っていることを確認した例。
- ② 欧州特許が大手欧州メーカーの目にとまり、取引に至った例。

中小企業知財戦略啓発活動の今後

- ◆一層の支援人材の育成が必要
- 定着モデルを応用した支援ツールの開発
 - ・問診票（企業ヒアリングツール）
- 知財経営定着ランクごとの支援メニューの作成
- ◆「知財で頑張る中小企業」経営者ネットワーキング
- ◆知財戦略にとどまらない技術法務支援
（特にグローバル展開など）

◆の項目は鮫島の私見です。

Industrial Property Law Firm of the Year / Japan-2011 (Corporate INTL)



ご清聴ありがとうございました。

技術法務で日本の競争力を実現する一弁護士法人内田・鮫島法律事務所

samejima@uslf.jp / 03-5511-6211

<http://www.uslf.jp/> (弊所オフィシャルウェブサイト)

<http://www.ip-bengoshi.com/> (知財弁護士ドットコム)